

マリーオ・チェローリ（1938～）は、イタリア現代彫刻を代表する作家の一人です。チェローリの作品は、梱包材の薄い板を切り抜いたものが多く、彫刻でありながら平面的な表現が特徴です。

チェローリは、つなげたり重ねたりした板で、人間や動物など身近なもののシルエットをかたどるという独自の技法で制作しています。これにより、従来の肉付けしたり、削ったりして制作された彫刻とは異なる独特なフォルムを生み出しています。また、1968年から舞台美術の仕事も手がけており、それをきっかけに、空間をいかに演出するかをより意識するようになったチェローリは、遠近法など、二次元において三次元を表現する手法を、実際の三次元の空間で提示する表現を追求しました。

チェローリのつくりあげた独特なフォルムと、それによって演出された空間をぜひご堪能ください。

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	材質
1	マリーオ・チェローリ	1938～	昇る人と降りる人	1968	242.0×90.0×48.0	木
2	マリーオ・チェローリ	1938～	肖像	1968	210.0×90.0×71.0	木
3	マリーオ・チェローリ	1938～	昇る人と降りる人	1968	100.0×70.3	紙, コンテ, 鉛筆
4	マリーオ・チェローリ	1938～	肖像	1968	100.0×70.2	紙, コンテ, 鉛筆